

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	スーパー（店 長）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で紙製品、洗剤等の日用品や食用油、調味料等の販売量が大幅に伸びている。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・来客数は前年比110%の伸びとなっている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・消費税増税前であり、消費者の購買意欲が見受けられる。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・主要商品は、通常の2倍程度売れている。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（支 配人）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が販売量を押し上げている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・消費税増税前で消費が加速している。
		商店街（事務局 長）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が多く業種で見られるようになった。3月中旬以降は週末も平日も多くの人通りでにぎわいを見せている。ただ客単価の伸びは小さく、買上客数が伸びた店が売上も伸びている。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要に加え、送別用のギフトの時季と重なり、商品の動きが良い。4月以降の予約においても前払いする客が多く、問い合わせなども多い。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・3月上旬は前年を割り込んでいたが、中旬以降は消費税増税前の駆け込み需要により、売上は前年並みまで持ち直している。
		百貨店（販売促 進担当）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要で高額商品の購入が増えている。また、日用品や消費期限の長い食品の買いだめも増えている。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・雑貨など単価が上昇している商品もあるので、そのような商品が景気に貢献しているとみている。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要がある。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・消費税増税前で来店客数、売上高ともに前年を上回っている。また、工事関係の作業員の来店が増えた。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・3月は天候にも恵まれ、消費税増税前の駆け込み需要で販売は堅調であった。
		衣料品専門店 （総務担当）	販売量の動き	・消費税増税前と春物商材のピークが重なり、前年比プラスで推移している。気温の上昇とともに購買意欲は改善しているが、目標には届いていない。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・中古車は現車がある為、3月中旬以降もまだ、消費税増税前の駆け込みがみられる。
		その他専門店 〔酒〕（経営 者）	来客数の動き	・消費税増税前の需要がおう盛であり、今は景気がいい。
		その他飲食 〔ファストフ ード〕（経営 者）	販売量の動き	・以前に比べ、客数が増えている。
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・道後温泉本館開設120周年記念イベントを開催しており、宿泊客が増えている。
		旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・3月末まで消費税増税前の駆け込み申請が多く、前年を大きく上回った。特に春休みの家族旅行や学生旅行の申込増加が目立った。
タクシー運転手	来客数の動き	・3月は歓送迎会の需要がおう盛である。四国霊場開創120年に当たる今年はお遍路関連の客も増えている。年初よりは少し景気が良くなっている。		
通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・新生活シーズン及び消費税増税前の駆け込み需要により、販売量が増えている。		
ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・3か月前より、来場者は増えてきている。		
競艇場（職員）	販売量の動き	・3月の売上は、前月比26%増、3か月前比2%減（横ばい）、前年比12%増と好調に推移している。3月は本場開催が22日あり、来場客が多かった。ただボートレース全体の売上は前年比10%減と厳しい。		
美容室（経営 者）	単価の動き	・消費税増税前により来客数が多い。		

変わらない	一般小売店〔乾物〕（店員）	それ以外	・駆け込み需要を強くは感じない。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・消費税増税前の商品のまとめ買いもなく、影響は少ない。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前に化粧品を買いだめする顧客が顕著にみられた。	
	スーパー（統括担当）	お客様の様子	・消費税増税を目前にして、日用雑貨等の販売が活発になっている。	
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要はない。天候や気温に左右されるが、客数伸長も見られない。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月まで駆け込み需要があると予想していたが、3月中旬以降は販売量が低迷し、当て外れとなった。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・消費税増税後の客足の変化を観察したい。	
	スナック（経営者）	お客様の様子	・歓送迎会等で来客は増えているが、単価は上がっていない。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客、レストラン利用客ともに減少している。単価も下落傾向にある。	
	通信会社（企画）	お客様の様子	・ここ数か月はオプション商品等の引き合いが比較的多い状態が続いている。	
やや悪くなっている	美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業式シーズンで一時的に需要が伸びたが、消費税増税で客足の動きは鈍いまま変わっていない。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・市況は安定しているが、小売・流通業への消費税増税の影響は小さいとは思えない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込みはなく、顧客の財布のひもは固いままである。	
	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要がみられる。	
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要は終了した、3月に入ると徐々に来店客数が減少して受注が止まった。好調の軽自動車は、1～2月の受注残もあって3月は、前年を大きく上回っているが、受注残のなくなる5月以降は厳しくなる。	
	乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要も一段落し、新車の受注は減少した。3月登録も終わり、登録台数の確保ができないため、受注減少が4～5月の業績に及ぼす影響は大きい。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・総じて飲み会が少なくなった。	
悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税を前にして確実に悪くなっている。	
企業動向関連 (四国)	良く なっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内外ともに受注は堅調に推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電関連の受注は好調を維持している。特に低圧の50kW未満の商品が農業関係等からの引き合いが多かった。
やや良くなっている	食料品製造業（商品統括）	それ以外	・四国の地方都市近郊では、土地の動きが活発化しており、太陽光発電施設用地としての利用が進んでいる。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響から駆け込み需要があって、3月は受注が増加したが、4月以降の売上は落ち着くとみている。	
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・得意先からの受注は微増である。商品により増減があるが、国内市場においては消費税増税の影響と思われる受注増加、海外市場においては得意先のデマンドに起因する受注変動とみる。	
	輸送業（支店長）	それ以外	・引越し需要が増加し、前年より取扱数量が増加した。また、消費財の輸送など消費税増税前の駆け込み需要により荷動きが活発になった。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・例年年度末は販売数が増加する傾向にあるが、今年度は前年度より若干上向き傾向にある。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の販売促進広告が多少増えている。例年と比較すればやや良い状況である。	
	公認会計士	取引先の様子	・今月の関与先の決算・試算表等を見ると、消費税増税前の駆け込みで、今年に入ってからの売上増が目立っている。	
変わらない	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに横ばい。	

	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末の繁忙期であり、順調に手持ち業務が進捗し、売上が伸びている。仕事量が多すぎるため人材不足は依然解消されていないが、賃金のアップ等でスタッフや機材等を確保している。経費増はやむを得ないものであり、全体的には売上、利益ともに好調を維持できている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が思ったほど伸びない。とにかく人員が足りない。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・現況は良いが、先行きの不安を感じている。	
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・3月に入ると発送・到着の取扱物量に、消費税増税直前の駆け込み需要と思われる著しい増加が見られた。特に発送貨物は紙製品、到着貨物は家電製品や省エネ関連製品（ソーラーパネル等）が大幅に増加した。	
	やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・主力の造船関連は2014年中の完成及び引渡しの船が少なく、単価も安い。受注も減少傾向にある。
	悪くなっている	—	—	—
雇用関連	良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・家電や医療品等、消費税増税前で販売面は好調。ただし、広域展開の大手量販店が売れているだけで、地元でお金が回っているとは思えない。
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・派遣労働において、雇用契約期間の長期化傾向、正社員登用を前提とした契約社員の求人ニーズも高まっており、雇用の安定化が今後の景気を高めていくのではと考える。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数が増加し、人員不足が続いている。ミスマッチも多くあるが、景気の上向きが感じられる。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・新規雇用を増やす意欲のある企業が多くなっている。これまで先行き不透明で採用を差し控えていた企業、特に製造業でその傾向がみられる。業績好調による製造ラインの新規稼働によるところも多い。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求職者の人気が高い事務職は、大きな需要増には至っていない。	
	職業安定所（職員）	それ以外	・2月の月間有効求人倍率は1.13倍で、3か月前と概ね同じ状況である。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人動向は、消費税増税前の駆け込み需要の影響から、求人増加の動きがみられるものの、一部産業には一服感がみられる。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は過去最高値の更新が続いているが、正社員の求人割合は依然として低く、求人条件にも好転はみられない。	
	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人に業種間での偏りがある。特に今年度は、建築・土木・介護業界の求人数は増えているが、他業種は、例年と変わらないところが多い。また、消費税増税前に一時的に仕事量が増えた業種もあるが、3月で終了している。	
	やや悪くなっている	—	—	—
	悪くなっている	—	—	—